学校番号	218

平成31年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	最新高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ

・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく術を身につけさせたい。
・生涯の各段階において健康についての課題があり、それらの課題に適切に対応する力を身につけさせたい。
・社会生活における健康の保持増進には、運動や休養、食事や飲酒・喫煙との関わり等の生活習慣が深くかかわっていることを理解させたい。

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に楽しむ資質や能力を育てる。
・健康増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a.関心･意欲･態度	b.思考・判断	c.知識・理解
観点の趣旨	自らの健康に関心を持ち、ノートやプリントに知識をしっかりとまとめたり、考えたことを発表したりして授業に積極的に取り組んでいる。	生涯を通じて健康を適切に管理し、改善していくために、各段階に応じた対策を自ら工夫して考えている。 健康の保持増進のために、自らの取り組みだけでなく、世界や周囲の取り組みについても気づいている。	生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、場面に応じた意思決定や行動選択が不可欠であることを理解している。
評価方法	・学習活動への取り組み ・課題・ノート・プリントなどの提出物の状況	・定期考査 ・提出ノート・プリントの内容	・定期考査 ・提出ノート・プリントの内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習の内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			評価のポイント	評価方法
			a	b	c		
1学期	現代社会と健康	健康についての考えか方と成り立ち 健康については、さまざまな考え方がある 健康はさまざまな要因から成り立っている 私たちの健康のすがた わが国の健康水準は向上を続けてきた 健康問題は時代とともに変化する 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり 適切な意志決定・行動選択が重要である 適切な意志決定・行動選択をするために 健康にかかわる環境づくりが重要である 生活習慣とその予防 生活習慣と関連の深い病気を生活習慣病という 生活習慣病を予防しよう 食事と健康 食事は健康の基礎である 健康的な食事をとろう 運動・休養と健康 適度な運動が健康をつくる 休養が疲労を回復し、活力をよみがえらせる 喫煙と健康 喫煙は、健康に大きな影響をもたらす 喫煙を始めるとなかなかやめられなくなる たばこ対策は全世界で進められている	○	◎	◎	a.授業に積極的に参加し、プリントやノートに書き写せている。 b.わが国の健康水準の変化とその背景について考えている。 b.ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できる。 c.生活習慣病を予防する方法を２つに分けて説明できる。 c.喫煙が人に引き起こす害を理解している。 c.日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査
2学期		飲酒と健康 アルコールは、脳や体に影響を及ぼす 長期間の過度の飲酒は、多くの問題を引き起こす さまざまな飲酒対策がおこなわれている 薬物乱用と健康 「１回だけ」でも薬物は人生を台なしにする 自分の周囲や社会にも薬物は悪影響をもたらす 薬物には多面的な対策が必要である 感染症とその予防 病原体が原因の病気を感染症という 問題となる感染症は変化してきている 感染症の予防は、社会と個人で取り組む	○	◎	◎	a.授業に積極的に参加し、プリントやノートに書き写せている。 b.自らの健康を保持増進するために、地域の保健所や保健センター、医療機関及び医療サービスが活用できることを知っている。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査

		性感染症・エイズとその予防 　性感染症･エイズが若者の間で問題となっている 　性感染症・エイズは予防できる 欲求と適応機制 　欲求は成長とともに多様化する 　欲求不満や葛藤をやわらげる心の働きがある 心身の相関とストレス 　心と体は、一体となって働いている 　ストレスは、心と体に影響を及ぼす 心の健康のために 　ストレスには、さまざまな対処方法がある 　自己実現は、心の健康につながる	○	◎	◎	c.日本や世界では性感染症の疾患率が広がり続けていることについて理解している。 c.性感染症、エイズの予防対策について、個人と社会に分けて説明ができる。 c.心と体は相互に影響しあう関係であることを理解している。 c.個人のストレス対処法について知っている、あるいは考えている。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査
３学期	社会生活と健康	交通事故の現状と要因 　若者では自動車と二輪車の事故が多い 　３つの要因がかかわって交通事故が起こる 交通事故を防ぐために 　運転者には、資質と責任が必要である 　安全な交通社会づくりが進められている 応急手当の意義とその基本 　適切な応急手当は命を救い、痛みをやわらげる 　応急手当の最初のポイントは確認と観察である 日常的な応急手当 　けがにおうじた応急手当がある 　熱中症には適切な手当が大切である 心肺蘇生法の原理とおこない方 　心肺蘇生法は原理にもとづいている 　心肺蘇生法には適切な手順がある	○	◎	◎	a.授業に積極的に参加し、プリントやノートに書き写せている。 b.応急手当が必要である場面に遭遇した時、積極的に参加すべき理由を知っている。 b.人命救助のため、自分たちが身につけておくべき知識や応急手当について考えている。 c.心臓・呼吸の停止、多量出血の場合、時間の経過とともに死亡率があがるため、早期に蘇生法を行う必要があることを理解している。 c. 熱中症の際の適切な応急手当を説明できる。 c.胸骨圧迫、AEDの装着と操作の手順を理解している。また実践できる。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなりすべてに〇をつけているが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）については◎を付けている。